

PSIM News

Professional Skills Instruction Materials
CONSORTIUM

法 実 務 技 能 教 育 教 材 研 究 開 発 コ ン ソ ー シ ア ム ニ ュ ー ズ レ タ ー



セミナー等報告

第37回法実務技能教育支援セミナー

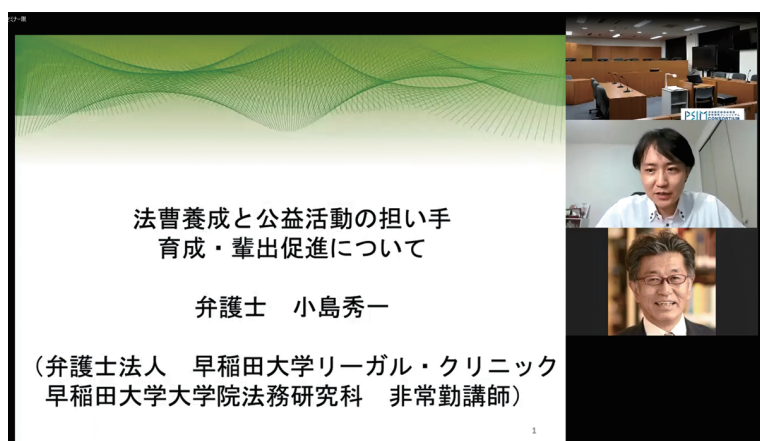
2021年7月9日(金)に、Zoomによるオンラインにて、「法曹養成と公益活動の担い手育成・輩出促進について」と題して第37回法実務技能教育支援セミナーを開催いたしました。

今回は、COVID-19感染拡大の影響によりオンラインでの開催となりましたが、公益活動を担う弁護士育成に関する展開構想を小島秀一先生(弁護士法人 早稲田大学リーガル・クリニック 弁護士)に講演いただき、法曹養成制度の中でのリーガル・クリニックの意義等を参加者の方々と再考し、意見交換をする良い機会となりました。お忙しい中、セミナーにご出席いただきましたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

ご講演いただきました小島先生より、講演要旨をご寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。

法曹養成と公益活動の担い手育成・輩出促進について

弁護士法人 早稲田大学リーガル・クリニック
弁護士 小島 秀一



2021年7月9日(金)、第37回PSIMコンソーシアム法実務技能教育支援セミナーにおいて、「法曹養成と公益活動の担い手育成・輩出促進について」というタイトルにてお話しさせていただきました。オンラインでの講演ではありましたが、法曹養成に携わる多くの先生方にご参会いただき、有意義な意見交換やご教示を賜うことができました。簡単ではございますが、以下、講演要旨をご報告させていただきます。

CONTENTS

今号の主な記事

第37回法実務技能教育支援セミナー	…01
法曹養成と公益活動の担い手育成・輩出促進について	…01
臨床法学教育学会の取組みについて	…03
事務局からのお知らせ	…04
今後の予定	…04

(1) (自己紹介)

現在、早稲田大学大学院法務研究科において、非常勤講師として「臨床法学教育科目(民事)」「(2・3年生向け)」「臨床法学教育科目(基礎)」「(未修1年生向け)」を担当しています。また、学部1年生向け導入演習ゼミの補助教員や、法科大学院生・教員・実務家・修了生の交流を目的とする学生団体の世話人などもしています。昨年より一般社団法人法曹養成ネットワークの理事としても活動しています。

(2) (法曹養成制度と公益活動の担い手育成・輩出促進)

これまで法曹養成制度・法科大学院教育を考える上で、公益活動の担い手育成の観点からは、意識されつつも、目的として明確には位置付けられてこなかったように思います。しかし、法曹養成制度は国民の利益を中心に検討されるべきところ、上記の点は特に重要なものではないでしょうか。また、私自身の経験や他の修了生の経験談を聞く限り、実務に出る前の多感な学生時代の体験は、その後も強く印象に残り、法曹としての活動の方向性に影響を与えていると感じます。法科大学院が危機にあるといわれる今、法科大学院の存在意義を社会に印象付けるという観点からも、法曹養成制度の目的の一つに公益活動の担い手育成・輩出促進があり、法科大学院教育・臨床法学教育こそ、その目的をより効果的に達成しうる制度と位置づけていくことは重要ではないでしょうか。

(3) (今後の活動)

(①法科大学院での臨床法学教育)

現状、臨床法学教育を行う上での悩みの一つに、学生に時間がないことが挙げられます。もっとも、2023年度以降、在学中の司法試験が実施されるにあたり、秋学期において一部の学生は積極的に参加できる可能性があります。訴訟・フィールドワーク等も含めたより高負担の授業、これまで扱いにくかった特殊な法分野を含めたより公益的な事案の取扱い、政策提言的な活動等を検討していきたいと考えています。

(②学部での臨床法学教育)

法科大学院未修1年生向け臨床法学教育科目を担当した実感として、未修者であっても、十分な準備があれば法律相談の聞き取りは既修者と同等に行えるように感じます。臨床法学教育には、法曹志望者の公益的意識を高める効果があると考えられるところ、学部においても、例えば、法曹コースの学生を対象に実施できないか検討・提案していきたいと考えています。

(③一般社団法人法曹養成ネットワーク(PLE-Net)における活動)

昨年、設立された「法曹養成ネットワーク」(理事長:春名一典弁護士)において、直近は教育の在り方等の調査研究活動等を行う予定ですが、来年度以降、法科大学院生と法曹が関与する公益活動(弁護団・委員会活動・NPO・NGO等)とのマッチング企画も実施していきたいと考えています。

(4) (後半部のディスカッション等)

後半部においては、ご参加くださいました先生方より、公益活動に関する問題点や公益活動の内容、他大学における臨床法学教育、学生の活動例等、様々な内容のご教示をいただき大変勉強になりました。今回、貴重な機会をいただきましたことに改めて感謝を申し上げます。

参考 一般社団法人法曹養成ネットワークホームページ:<https://www.ple-net.org>

臨床法学教育学会の取組みについて

臨床法学教育学会理事長 米田 憲市

私たち臨床法学教育学会は、法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム(PSIMコンソーシアム)と同様に法科大学院の設置を契機として、2008年に設立されました。特に最近では、PSIMコンソーシアムの取組みを後援させていただいたり、当学会の年次大会のご案内を貴コンソーシアムのみなさまにご案内いただいております、メールなどで名前を見かけた方もおられると思います。

私たちが冠としている臨床法学教育をおおまかにいえば、現実の依頼人に対し学生が法曹資格を有する教員の指導監督の下に法律サービスを提供する「リーガル・クリニック」、現実の事案を教育目的に応じて加工し教材として用いる「シミュレーション」、および、現実の法務活動を行う法律事務所・企業法務部・行政機関・各種NGO等に学生を派遣する「エクスターンシップ」という3つの教育形態をベースとする、法曹養成の中で実施される学び手に実務を想定した経験を提供することを重視した教育プログラムのことを指しています。

これらの教育上の取組みは、座学で学ぶ法理論を法実務の環境において応用・検証することにより、その理解を深く確実にすることに止まるものではなく、より深く法理論に裏打ちされた法曹技能を修得させ、専門職業人としての倫理観と価値観を涵養することを目指すものです。さらに、当学会では、大学における高度の学術専門性と豊富な実務経験を有する指導教員の監督の下に、これまで法律サービスの行き届きにくかった人々へ、教員と法科大学院学生による質の高い法律サービスを提供することによる社会貢献を実践することを視野に入れています。

当学会は、臨床法学教育の取組みが、理論と実務の双方において、法曹の活動を省察的批判的に検討することができる人材を育てることを通して、将来にわたり法理論と法実務の継続的改革と発展を担う法曹の養成の一翼を担うものと考え、志を同じくする者の取組みの成果の共有や新しいアイディアに触れて刺激を与えあう場として機能しています。

年に一度開催される年次大会では、法曹養成過程の教育プログラムのコンテンツだけではなく、諸外国の同様の取組みはもちろん、法曹養成制度の在り方そのものや、医学の取組みや教育学の新しい成果など法学以外の分野から示唆を得た教育実践の法曹養成過程への導入、法曹の新しい職域に送り出すための情報収集やそのための教育コンテンツなどの検討に積極的に取り組んでいます。

臨床法学教育学会の取組みは、PSIMコンソーシアムの目的及び取組みに多くの点で共通する部分があります。本来理論と実務が交叉し豊かな経験の場であるべき法曹養成過程が、司法試験という「点」によって規律され、それに訓化されつつある現在、それぞれのリソースとその成果を寄せ合い、相互に活動を支援し合うことで、ともに次の時代に必要な優れた法曹を生み出すことに協力し合えたらと考えています。



当学会では、学会誌『法曹養成と臨床教育』を刊行し、HPやFBで最新情報を提供しています。是非、ご一読・お立ち寄りいただき、PSIMコンソーシアムに加え当学会の活動にも関心を持っていただければと思います。

Homepage: <https://www.jclea.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/clinicaleducation>



事務局からのお知らせ

この度、PSIMコンソーシアムと俳優、演出家、舞台監督の金子康雄氏とのコラボレーションで「模擬法廷セット」を製作いたしました。

これは、大きなホールで模擬裁判等イベントを開催する際に、より臨場感を出すための舞台セットです。

既存の机の周りに設置が可能で、折り畳み式ですので、収納、運搬が容易にでき、設営も簡単に行うことができます。

法科大学院の授業だけでなく、学部のゼミ、オープンキャンパス等各種イベント等での利用が可能です。



金子 康雄 氏

俳優、演出家、舞台監督

名古屋の老舗劇団、劇座の俳優として、TV、ラジオ、CM、舞台等で活躍。その活躍の場は俳優だけでなく、舞台監督、演出も手掛ける。近年は、舞台装置や照明等を扱う舞台美術家としてもその活動範囲を広げている。

日本演出者協会東海ブロック所属。名古屋放送芸能家協議会会員。

今後の予定

■ 第38回法実務技能教育支援セミナー

日時 2021年11月13日(土) 時間未定

場所 オンラインでの開催予定

■ 第15回PSIMコンソーシアム総会

日時 2021年11月13日(土) 時間未定

場所 オンラインでの開催予定

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアム ニュースレター 第27号

【発行者】PSIMコンソーシアム 【代表】藤本 亮 名古屋大学大学院法学研究科 教授

【事務局】〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科 211研究室

【TEL&FAX】052-788-6234 【ホームページ】<https://psimconsortium.law.nagoya-u.ac.jp>

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアムは、法科大学院における法実務技能教育に関し、教材の作成と共同利用・教育人材の養成・教育方法論の構築を目的として、下記の法科大学院が参加して全国規模で活動しています。

【PSIMコンソーシアム参加校・協力機関】

名古屋/北海学園/東北/東京/専修/早稲田/上智/日本/愛知/南山/金沢/関西学院/大阪市立/岡山/広島/九州/琉球

静岡大学地域法実務実践センター/愛知学院大学法務支援センター/鹿児島大学司法政策教育研究センター(2021年4月現在17校3機関 順不同)